

9月9日は救急の日

☎ 衣浦東部広域連合消防局消防課 ☎ 63-0135

厚生労働省と総務省消防庁は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日を「救急の日」、この日を含む1週間（9月7日(日)～13日(土)）を救急医療週間と定めています。



衣浦東部広域連合消防局では、多くの人が応急手当てを身につけ、救急業務や救急医療への正しい理解と認識を深めることができるよう、救命講習会を毎月開催しています。一度救急について学んでみませんか。詳しくは、ホームページを確認してください。

▼1秒でも早く助けたい命がある！

脳は、心臓が停止すると約15秒以内に意識が無くなります。その後、約4分以上そのままの状態が続くと回復することが困難になります。心臓の動きが停止している間、心肺そせいによって脳や心臓に血液を送り続けることがAEDの効果高めるとともに、心臓の動きが戻った後に後遺症を残さないためにも重要です。

命が助かる可能性は、時間とともに減少しますが、その場に居合わせた人が心肺そせいを行った場合、助かる可能性が高くなります。

救える命を助けるために、正しい応急手当てを身につけておきましょう。

▼より高度な救命処置を



救急救命士法が施行され、救急車に救急救命士が乗車し、高度な救命処置が行えるようになりました。衣浦東部広域連合消防局の全ての救急車に救急救命士が乗車しています。

点検しましょう 住宅用火災警報器

☎ 衣浦東部広域連合消防局予防課 ☎ 63-0136

住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」というときに、きちんと働くよう、日頃から作動確認と手入れをしておきましょう。設置から10年が経過したものは電池切れに要注意です。住宅用火災警報器は、電池が切れると作動しなくなります。大切な家族と自分自身のために、住宅用火災警報器を点検しましょう。



あなたに代わって 大切な命の情報を伝えます 救急医療情報キットの無料配布

☎ 高齢介護課高齢福祉係 ☎ 95-9888

救急医療情報キットとは、高齢者の安心・安全を確保するため、かかりつけ医の医療機関や持病、薬の服薬状況などの医療情報、緊急連絡先などを記した用紙を専用ケースに入れ、自宅の冷蔵庫に貼り付けておくことで、万が一の緊急時に備えるものです。駆け付けた救急隊員が救急医療情報キットの情報を確認することで、適切で迅速な処置や連絡が可能になり、家族への連絡もスムーズに行えます。救急時のほかに災害時の避難にも役立ちます。もしもの時に備えて、ぜひ準備をしてください。

対 市内在住で以下のいずれかに該当する人

- ・65歳以上の一人暮らしの人
- ・65歳以上の人のみの高齢者世帯
- ・自宅で一人になることのある65歳以上の高齢者

申 窓口で手続きをする人の本人確認ができるもの（運転免許証、健康保険証など）を持参し、本人又は代理人が直接

